

令和3年9月13日

分散登校日初日 校長あいさつ（放送）

愛龍生のみなさん、おはようございます。校長の倉持です。

二学期の始業式から10日余りが過ぎましたが、緊急事態宣言期間が延長され、特別対応の登校日になりました。

茨城県の学校現場の対応は、休校処置をとらない東京都や千葉県等とは異なり、小中学校及び県立高校は休校措置を取り、オンラインによるリモート授業を実施しています。私立高校もそれに倣ってリモート授業を進めています。

本校もオンラインによる授業が可能なら、そうしたいのですが、現時点ではその環境が整っていません。しかし、ICTを活用した授業を2学期から徐々に進めていく予定でしたので、いつからとは言えませんが、近い将来に、オンラインによる授業も可能になると思います。

今日から本校は、学年2つの分散登校による教育活動を再開します。通常とは異なるため、慣れるには多少時間がかかるかもしれませんが、緊急事態宣言中でも、感染対策を取りながら、少人数であるという本校の利点を最大限に活用した教育活動ができると信じています。

現在の感染状況等を考えると、学校に登校すること自体に、不安を感じてしまうことがあってもそれはとても自然なことです。不安を感じたら、我慢せず先生に相談してください。自分の思いを閉じ込めるのではなく、誰かに、そして身近な人に伝えることを選んでください。

本日の家庭連絡は、今週および来週の予定を説明していますので、その日程を理解して、自分はこれからどう動いていくのか、どのような1日を送っていくのか、具体的なイメージを持ちましょう。

校長の私が今一番心配していることは、本校関係者にコロナ感染者が出ることも心配ですが、それ以上に、生徒の皆さんの「学ぶ意欲」が低下していくことが心配です。社会的な不安と未来が見えにくい状況の中に長くいると、だれでもいろいろな「意欲」が薄れていくものです。「学びを本望」にしている皆さんにとって、「学ぶ意欲」が薄れていくことは、絶対にあってはならないことだと私は強く感じています。

そのため、今日の登校日は、これからの学校生活を再構築して、「学びの意欲」を立て直すために、とても大切な時間になります。

本校が選択した、2つ学年の分散登校による「学びのすすめ」を、皆さん一人一人が自分のなすべき「学び」をもう一度あらためて確認して、一步一步、その「学び」を前に進めていってください。その時は決して一人ではありません。皆さんの隣には、伴走者として先生が必ずついています。

繰り返します。今、私が皆さんに一番伝えたいことは、「学ぶ意欲」をもう一度自分の中に取り込んでくださいますということなのです。

そして、同時に、先生方にも「教える意欲」を今まで以上に強く持って、生徒とともに歩んでもらいます。

「学ぶ意欲」と「教える意欲」は、決して別々のものではありません。ともに密接な関係性があります。つまり、相関関係による相乗効果によって、今までにない大きな力が生まれてくるのです。その大きな力こそが、皆さんを大きく成長させる原動力になっていくはずなのです。

皆さんと先生方で作るその大きな力を、いつか私は見てみたいと心から願っています。これで、私の話を終わります。ありがとうございました。